

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画（案）」市民説明会
質疑応答・意見交換 発言要旨【日高地域】

- 1 日 時 2020年9月10日 19:00~20:40
 2 場 所 日高地区コミュニティセンター 多目的ホール
 3 参加人数 43人
 4 質問、意見等

発言者	質問、意見等	回答等
A氏	待機児童について、現状はどのような状況か。	説明会資料「8就学前施設の利用状況（実績）（2）待機児童の推移（各年度3月1日）」に、過去5年間の年度末の状況をグラフにしているので確認いただきたい。新聞等で報道されているのは4月1日現在の数値で、本年度は4名であったが、年度途中の申込も随時受け付けており、毎年、年度末には待機児童が多く発生する状況にある。
	保育教諭が不足しているとのことだが、今後どのようにして解消していくのか。具体的な方策はあるのか。	2018年度から2年間かけて、保育士等確保推進事業を行った。その中で、アプローチができる範囲であるが、潜在保育士（保育士資格を有しているが、保育所等で就労していない方）にアンケートを行った。その結果、辞められた理由、復職の条件の問いに対し、待遇面と働きやすさを挙げる声が多かった。待遇面については、国の処遇改善制度により、改善が図られているところである。働きやすさの点では、保育以外の事務の負担が大きく労働時間が長いこと、急な休みが取りにくいことなどの課題が浮き彫りになった。これらを解消するための方策を検証するため、2つの園をモデル園として取り組みを行った。1つは、事務に関する手作業を極力減らすため、保育支援システ

		<p>ムを導入した。もう1つは、保育士の業務を切り分けし、保育士の資格がなくてもできること、例えば、食事や昼寝の準備、掃除などの作業については、新たに保育補助の職員を採用し、行うこととした。その結果、保育士の負担が軽減し、保育士が保育に専念できる時間が増えた。まだ取り組み半ばであるが、これを全園に展開できるようにしていきたい。</p>
	<p>公立認定こども園の通園区設定の廃止が示されているが、公立小学校についても同じように考えているのか。</p>	<p>小学校については、法律により通学区域を定めなければならないため、どこでも行けるということにはならない。</p> <p>なお、小学校も、就学前の子どもたちの状況と同じで、6年間で860人減る見込みである。この問題に対し、審議会を立ち上げて、小学校の校区の問題を含めて検討している。基本的に自力通学になるため、あまり校区を広げず、中学校区の範囲で統合し、複式学級になることを避けるよう検討している。9月23日から10月28日まで、12会場で同じような説明会を開催し、基本的な考え方や具体策をお示しするのでお越しいただきたい。</p>
B氏	<p>冒頭のあいさつで、日高幼稚園の園児が本年度は8名とあった。一方で、蓼川保育園は許容量一杯の子どもを受け入れている状態である。そのような中、再編の期間を10年としているが、10年間も必要なかと率直に思う。質問ではなく、保護者としての意見である。</p>	<p>ご指摘の通りであるが、今、蓼川保育園の受け入れが一杯で、幼稚園の子どもを受け入れ出来ないという事情がある。受け入れるには施設の増築や改修が必要だが、敷地が限られていることもあり課題が非常に大きい。進めるには一定の協議期間が必要と考え後期計画としているが、状況は認識しているので、検討したい。</p>
C氏	<p>日高町の7園で合同研修を行った際、同一</p>	<p>ご指摘の点は、課題として認識し</p>

	<p>労働同一賃金の話題が上がり、保育園の現状として臨時職員が多いが、同一労働同一賃金が可能かということであった。保育する人数によって園に給付費が入るが、増減があることを勘案すると、賃金を抑えざるを得ない事情もある。これについて、市としてどのように考えているか。</p>	<p>しており、検討していきたい。また、制度の情報提供も行っていきたい。</p>
D氏	<p>適正規模を確保するというのは子どもたちにとって大切で、こども園への再編は不可欠であり、良いことだと思っている。一方で、2030年までの子どもの数の推移を見ると、今後も少子化が続くことは明白であり、いかに子どもを産み育てたい街にするか、市外に出た人たちが帰ってきたいと思える豊岡市にするかといった対策が必要である。今回の再編も現状を打開する案でしかなく、このままではまた次の再編を繰り返すことになる。少子化の問題は、保育園や幼稚園、学校だけの問題でなく、豊岡市全体で取り組むべき最優先事項だと思っている。観光や福祉、教育など、管轄を超えた議論を行い、様々な角度から少子化に関する対策を取っていただきたいと思っているが、現状の対策はどうか。</p>	<p>推計については、今までの状況が今後も続くものとして、機械的に出した数値であるが、推計の通りになれば、このことだけでなく、市全体に影響が及ぶと考えている。これに対し、豊岡市においては、地方創生総合戦略を策定し、人口減少対策のための様々な対策を取っている。また、高校卒業後の進学等で転出が多くなるが、その後、就職等で豊岡に帰ってくる若者が、男性は約半分、女性で約25%という状況があり、特に女性を増やすことを対策の柱としており、ワークイノベーション推進室という専門の部署を設けて対応にあたっている。また、婚姻を増やすための事業なども行っており、これらの対策について、着実に進めていきたい。</p>
E氏	<p>過去に認定こども園に移行した施設でのアンケート結果の説明があったが、「悪くなった」という回答が多いと感じる。幼稚園や保育園が認定こども園になったとのことだが、制度上の問題があるのか、何かサービスが悪くなったのか、また、それをどう分析し、改善につなげたのか、お聞きしたい。</p>	<p>4月に認定こども園に移行し、年度末に行ったアンケートであり、今までと運営方法等が変わったことによる違和感などによるものである。アンケートの結果については各園で確認して改善を図っており、今では入園から卒園まで年齢に応じた対応をしており、運営上のトラブルは無いと考えている。</p> <p>具体的な取組みの例として、小学校との連携に関する不安の声が多くあり、それまでは幼稚園が小学校に</p>

		<p>併設されていた。例えば、掃除などの作業を小学校と一緒にすることで自然に学べたことができなくなったなどである。そこで、園と小学校の連携を図るため、体験入学や5年生との交流事業をはじめ、各学期に計画と反省会を行うとともに、子どもの様子についても話し合い、園と小学校が情報共有を図った。また、園でも生活を通して、様々なことを経験できるよう工夫することで対応してきた。</p>
	<p>保育士確保について、市の取組みとして保育士の働き方の改善の説明があった。私立園も努力しているが、保育士の確保は依然として厳しい状況である。特に新卒の保育士の確保について、社会福祉法人としても努力するが、市としても問題意識を持ち、対応願いたい。</p>	<p>情勢は承知している。市としてそのような施策ができるかという点、課題も多く、現時点では考えていないが、引き続き問題意識を持ち、検討を進めていきたい。</p>